

【単元名】ちがいをかんがえてよもう 「どうぶつの あかちゃん」(全8時間)

【単元の目標】

- 「読むこと」 ・ライオンとしまうまの赤ちゃんの特徴やその違いなどを考えながら、事柄ごとに違いを比べて読むことができる。(イ)
- 「書くこと」 ・どんなことがクイズにふさわしいかを考え、ライオンとしまうまの赤ちゃんの特徴が述べてある事柄を集めて書くことができる。(ア)(イ)
- ・事柄の関係を考えながら語や文と文の続き方に注意して書く。(エ)

【五つの言語意識】

相手意識	目的意識	場面・状況意識	方法意識	評価意識
クラスの仲間に	ライオンですか、しまうまですかクイズをするために	教室で・クイズ大会のときに	ライオンとしまうまのいろいろな特徴をクイズに出す	クイズに正解できたかどうか

【単元指導計画】

次	時	ねらい	主な学習活動	評価規準	子どものつまずきに応じた主な指導・援助
1	1	動物について知っていることを話し合うことを通して教材文に対する関心を高め、クイズ大会を知り、学習に見通しを持つことができる。	1、動物や動物の赤ちゃんについて知っていることを話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どうぶつの赤ちゃんで、どんなべんきょうをしていくか、かんがえよう。</div> 2、教師の作った動物クイズをする。 3、クイズ大会を知り、5つの言語意識を話し合っで決める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">クイズ大かいをすることがわかったよ。はやくやりたいな。</div> 4、本時のまとめと自己評価	関心・意欲・態度 動物について知っていることを話し合うことを通して教材文に対する関心を高めクイズ大会を知り、学習に見通しを持つことができている。	つまずきの様相 動物に興味を持たずに、教材にも関心が持てないでいる。 評価 話し合いの様子 指導・援助 <補充> 動物の写真をみることによって、知っている動物について話せるよう声掛けをする。 <発展> 自分の知っている動物や飼ったことのある動物のことを詳しく話すようにする。
	2	教材を読んだり範読を聞いたりすることを通して、わかったことや初めて知ったことを感想として書いたり、話したりすることができる。	1、教材を音読する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">どうぶつのあかちゃんをよんで、わかったことや始めてしまったことをかこう。</div> 2、範読を聞きながら出てくる動物や初めて知ったことで1番驚いたことに線を引ながら聞く。 3、感想を書く。 4、みんながどんなことに気づいたか、全体で交流する。 5、感想をまとめながら全体で内容を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">しまうまのあかちゃんはすぐに立ち上がるのがすごいとおもったよ。</div> 6、本時のまとめと自己評価	読む ライオンとしまうまの赤ちゃんの話であることがわかり、わかったことや初めて知ったことを感想として書いたり、話したりすることができている。	つまずきの様相 感想の書き方や話し方がわからずにいる。 評価 ノート・話し合いの様子 指導・援助 <補充> 「～ということをはじめて知りました。」というようなノートの書き方や発言の仕方を提示する。 <発展> ライオンの赤ちゃんとシマウマの赤ちゃんの違いを調べるようにする。
2	3	繰り返し音読することや動作化をすることを通して、生まれたばかりのライオンの赤ちゃんの大きさ・目や耳・親との違いの様子を読み取ることができる。	1、段落2を音読する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ライオンの赤ちゃんの生れたばかりのようすをよみとろう。</div> 2、生まれた大きさ・耳の様子・親との比較の部分を読み取り、動作化する。 3、事柄ごとにノートにまとめる。 4、ペアで交流する。 5、全体で交流し、確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">ライオンの赤ちゃんは子ねごぐらいの大きさで、目や耳はとじたままで、よわよわしいことがわかったよ。</div> 6、本時のまとめと自己評価	読む 繰り返し音読することや動作化をすることを通して、生まれたばかりのライオンの赤ちゃんの大きさ・耳などの親との違いの様子を読み取ることができている。	つまずきの様相 違いを項目ごとに読みとれずにいる。 評価 ノート・話し合いの様子 指導・援助 <補充> 絵でどここの部分のことが書かれているのかを項目ごとに注目できるようにし、声掛けをする。 <発展> 「よわよわしい」や「けれども」という言葉の意味を考えるようにする。

4	<p>繰り返し音読することや動作化をすることを通して、ライオンの赤ちゃんの歩くときの様子・乳をのんでいる期間・自分でえさをとる時期を読み取ることができる。</p>	<p>1、第3・第4段落を音読する。</p> <p>ライオンの赤ちゃんはどのように大きくなっていくかよんでしよう。</p> <p>2、歩くときの様子・乳を飲んでいる期間・自分でえさをとる時期を読み取り、動作化する。</p> <p>3、事柄ごとにノートにまとめる。</p> <p>4、ペアで交流する。</p> <p>5、全体で交流し、確認する。</p> <p>ライオンの赤ちゃんはあるくことができなくて、2ヶ月はちちだけをのんでいて、1年たつとやっといふんでえさがとれるようになることがわかったよ。</p> <p>6、本時のまとめと自己評価</p>	<p>読む</p> <p>繰り返し音読することや動作化をすることを通して、ライオンの赤ちゃんの歩くときの様子・乳をのんでいる期間・自分でえさをとる時期を読み取ることができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>乳を飲む期間と、自分でえさをとる時期が読み取れずにいる。</p> <p>評価</p> <p>ノート・話し合いの様子</p> <p>指導・援助</p> <p><補充> 乳を飲む期間と自分でえさをとる時期が書かれているところを掲示で表示し、動作化しながら<発展>「やがて」や「2ヶ月」、「1年」など時間を表す言葉に注目し、その時間の長さを、児童に当てはめて考えるよう声掛けをする。</p>
5	<p>繰り返し音読することや動作化をすることを通して、生まれたばかりのしまうまの赤ちゃんの大きさ・目や耳・親との違いの様子を読み取ることができ、事柄ごとにライオンの赤ちゃんと比べ、その違いに気づくことができる。</p>	<p>1、第5段落を音読する。</p> <p>しまうまの赤ちゃんの生れたばかりのようすをしり、ライオンの赤ちゃんとくらべてちがいをを見つけよう。</p> <p>2、生まれた大きさ・目や耳の様子・親との比較の部分を読み取り、動作化する。</p> <p>3、事柄ごとにライオンと比べて動作化し、違いを確認しながらノートにまとめる。</p> <p>4、ペアで交流する。</p> <p>5、全体で交流する。</p> <p>ライオンはおやとにいていなかったけど、しまうまはにていることがわかったよ。</p> <p>6、本時のまとめと自己評価</p>	<p>読む</p> <p>繰り返し音読することや動作化をすることを通して、生まれたばかりのしまうまの赤ちゃんの大きさ・耳などの親との違いの様子を読み取ることができ、事柄ごとにライオンの赤ちゃんと比べ、その違いに気づくことができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>ライオンとしまうまの生まれたときの様子が混同してしまっている。</p> <p>評価</p> <p>ノート・話し合いの様子</p> <p>指導・援助</p> <p><補助> ノートにまとめるときに、その違いがわかるように、事柄ごとに動作化をして、違いを確認する。項目ごとに掲示してあるものをもとに声掛けをする。</p> <p><発展> なぜ2つの動物は生まれたときの様子が違うのか、考えて話すようにする。</p>
6 (本時)	<p>時間や時期に着目して繰り返し音読することや動作化をすることを通して、しまうまの赤ちゃんの歩くまでの様子・乳をのんでいる期間・自分でえさをとる時期を事柄ごとに読み取ることができ、ライオンの赤ちゃんと比べることで、しまうまの赤ちゃんが早熟であるのは強い動物に襲われても逃げることができるようにするためだということを読み取ることができる。</p>	<p>1、第6・第7段落を音読する。</p> <p>しまうまの赤ちゃんはどのように大きくなっていくかよみとり、ライオンの赤ちゃんとのちがいをかんがえよう。</p> <p>2、歩くときの様子・乳を飲んでいる期間・自分でえさをとる時期を読み取り、動作化する。</p> <p>3、事柄ごとにライオンと比べて動作化し、違いを確認しながらノートにまとめる。</p> <p>4、全体で交流する。</p> <p>しまうまはライオンよりあるくのもえさをとるのもはやくできるようになることがわかったよ。そのわけは、つよいどうぶつからにげるためだとわかったよ。</p> <p>5、本時のまとめと自己評価</p>	<p>読む</p> <p>しまうまの赤ちゃんは生れて30分も立たないうちに立ち上がり、次の日には走れるようになることや、乳をのんでいる期間は7日間であることや、7日以降は自分でえさをとることができるようになっていくことを読み取ることができ、しまうまの赤ちゃんが早熟であるのは強い動物に襲われても逃げることができるようにするためだということを読み取ることができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>ライオンとしまうまの違いが見つけられずにいる。</p> <p>評価</p> <p>ノート・動作化の様子</p> <p>指導・援助</p> <p><補助> 一緒に繰り返し動作化をしながら、違いを一つ一つ確認する声掛けをしていく。</p> <p><発展> ライオンとしまうまはなぜ生まれた様子や育ち方に違いがあるのか、考えて話すようにする。</p>

3	7	<p>ライオンとしまうまの違いで、自分が教材を読んでみて初めて知ったことや不思議に思った事柄を選んでクイズにし、選んだ訳も書くことができる。</p>	<p>1、前時までに読み取ったライオンとしまうまの違いを振り返る。 2、教師のクイズの例を見て、自分で事柄を選んでクイズにして、訳も話すことを知る。</p> <p>じぶんがはじめてしたことやふしぎだなとおもったことを、クイズにしよう。</p> <p>3、事柄を選んで、クイズの問題を書く。 4、その事柄を選んだ訳を書く。 5、ペアでクイズを出し合って、話す練習をする。 6、全体で交流する。</p> <p>しまうまが生れて30ぶんもたたないうちに立てようになるのは、はじめてしたことだからクイズにしたよ。</p> <p>7、本時のまとめと自己評価</p>	<p>書く</p> <p>ライオンとしまうまの違いで、自分が教材を読んでみて初めて知ったことや不思議に思った事柄を選んでクイズにし、選んだ訳も書くことができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>クイズは書くことができたが、訳を書くことができずにいる。</p> <p>評価</p> <p>ノート</p> <p>指導・援助</p> <p><補助>「どうしてこれを選んだの?」と声掛けをし、口に出して言ったことを書くようにする。 <発展>なぜその違いがあるのかということの説明も書くようにする。</p>
	8	<p>自分や仲間の学んできたことを認めることができるようにするために、クイズ大会でクイズを出したり答えたりすることを通して、読み取ったことの確認をすることができ、達成感を感じることができる。</p>	<p>1、クイズを出す練習をする。</p> <p>クイズ大かいで、みんなのクイズにこたえよう。</p> <p>2、クイズ大会をしながら、友だちの問題に答える。読み取ったことを確認する。 3、クイズ大会の感想を書く。 4、全体で感想を交流する。</p> <p>ぜんぶのクイズにせいはいすることができたよ。どうぶつの赤ちゃんでしったことがたくさんあったよ。</p> <p>5、本時のまとめと自己評価</p>	<p>話す・聞く</p> <p>自分や仲間の学んできたことを認めることができるようにするために、クイズ大会でクイズに参加することを通して、読み取ったことの確認をすることができ、達成感を感じることができる。</p>	<p>つまずきの様相</p> <p>友だちのクイズを聞いていることができずに答えられない。</p> <p>評価</p> <p>クイズに答える様子</p> <p>指導・援助</p> <p><補充>自分がどのくらいライオンやしまうまのことについてわかったかの確認をクイズでするように声掛けをし、友だちの気づいた説明を聞くようにする。 <発展>友だちの説明を聞いて、そのことについての感想を書くようにする。</p>